



2024年10月15日

各位

会社名 株式会社AVANTIA
代表者名 代表取締役社長 沢田 康成
(コード番号 8904 東証スタンダード・名証プレミア)
問合せ先 取締役管理本部長 樋口 昭二
(電話番号 052-307-5090)

中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2022年10月11日に公表しました中期経営計画2025について、本日公表した「2024年8月期決算短信[日本基準](連結)」に基づき、中期経営計画2025の最終年度である2025年8月期の計画数値を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 数値目標の修正内容

(単位：百万円)

	2025年8月期	2025年8月期
	変更前	変更後
売上高	<u>78,000</u>	<u>82,000</u>
経常利益	<u>3,000</u>	<u>2,000</u>

2. 変更理由

本日公表いたしました2024年8月期決算短信に記載の通り、当社を取り巻く事業環境は、地価や建築コストの上昇を背景とする物件価格の上昇、高止まりが続く中、インフレ下における住宅の第一次取得者層の住宅購入意欲は低迷し、当社の想定以上に深刻かつ長期化しております。また、当社の主力地域である中部圏においては、市中在庫過多の状況が長く続いており、同業者による在庫処分の動きが、市場価格の不透明感を強め、受注環境は非常に厳しいものとなりました。

このような事業環境下において、当社は販売価格の見直しにより販売在庫の長期化や滞留を抑制することを優先し、中期経営計画2025の基本戦略である「トップライン拡大」を着実に推進してまいりました。また、低迷する実需層に対し堅調な富裕層、投資家向けの事業用不動産物件やリノベーションにより付加価値を高めた中古住宅等の売買に積極的に取り組み、「不動産流通事業」として事業拡大に努めてまいりました。その結果、本日公表いたしました2024年8月期決算短信に記載の通り、売上高は当初計画を上回り、トップライン拡大は順調に進んだものの、利益面では計画を下回って推移しております。

中期経営計画2025の最終年度にあたる2025年8月期の事業環境は、市場在庫過多の状況は徐々

に解消され、正常化が進むことを見込んでおり、つれて第一次取得者の住宅取得意欲も持ち直してくることを想定しております。しかしながら、所得環境の伸び悩みや持続する物価高に加え、住宅ローン金利の上昇が見込まれる中、顧客の住宅取得予算が大幅に増加することは期待できず、戸建住宅事業においては引き続き利益獲得の面では厳しい状況が続くと考えております。また、前期までに取り組んできた仕様変更によるコスト削減や注文住宅部門の強化等による利益改善効果を一定程度見込むものの、下期以降に本格化することを見込んでいることから、中期経営計画策定当初の利益水準には至らないとの見通しです。一方、不動産流通事業においては、富裕層や投資家の不動産投資意欲が堅調に推移しており、高騰する新築住宅価格を背景に実需層向けの中古区分マンション等の需要も底堅く推移する見通しです。そのため、2025年8月期は、既に取得済みの物件を中心に販売に取り組むことで着実に収益を獲得するとともに、更なる事業拡大に向けた事業基盤の整備を含め、同事業に対する積極的な投資を継続してまいります。これにより、不動産流通事業のセグメント売上高、利益の大幅な伸長を見込んでおります。

これらの結果、2025年8月期の業績見通しについては、中期経営計画策定当初の見通しに対して、上記に記載の通り、売上高は計画を上回る見込みとなりましたが、経常利益については、主に戸建住宅事業における利益改善にしばらく期間を要する見込みなため、当初の計画を下回る見通しとなりました。

以 上